

奥大山に奏でる豊かな響き アルペンホルン♪



■11月3日(土)奥大山オータムフェスタにて

天然の木をくり抜いて、作られたスイスの民族楽器、アルペンホルンによるすばらしい演奏を披露。

今月号の 主な内容

- 特集 第64回全国植樹祭を開催します……2~3
- 日野川源流米コンテストが開催 ……………4
- 第14回食味分析鑑定コンクール国際大会 ……6
- 障がい児に関する手当などのお知らせ ……7
- まちの教育……………9~13
- 農業委員会だより ……………14~16
- 奥大山スキー場リフト割引券情報 ……………17

- まちの人口 3,362人 (-7)
男 1,572人 (-2)
女 1,790人 (-5)
- 世帯数 1,122世帯 (-1)
11月末現在 () は前月比

このページは日南町、日野町、江府町、日野総合事務所が連携、共同して情報発信しています。（鳥取県日野地区連携・共同協議会実施事業）今回は、来春鳥取県で開催される第64回全国植樹祭についてご紹介します。

第64回全国植樹祭を鳥取県で開催します

大会テーマ

感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ

全国植樹祭は、森林や緑への国民的理解を深めるため、天皇后両陛下ご臨席のもと、国土緑化推進機構と開催県の共催で昭和25年以後毎年行われています。

鳥取県での全国植樹祭の開催は、昭和40年以来48年ぶり2回目です。



第64回全国植樹祭式典会場イメージ

【大会概要】

平成25年5月26日（日）開催
 式典会場…とっとり花回廊(南部町) 植樹会場…とっとり花回廊(やしの森(伯耆町)、国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森(江府町))

《式典》

【プロローグ】鳥取の豊かな自然や文化、森林・林業・木材産業などの紹介や、県民が参加する創作劇「大山森話」等を上演します。
 【記念式典】創作ダンスや吹奏楽・管弦楽による大会テーマの表現。緑化功労者などの各種表彰、次期開催県（新潟県）へのリレーセレモニー等を行います。
 【エピローグ】和太鼓の演奏、出演者と招待者による大合唱など会場一体となった全国植樹祭の感動的なフィナーレを飾ります。

《植樹》

未来の森をイメージしながら一人一本植樹します。植樹する苗木の一部は、県内の団体や小学生が育てたものです。

《おもてなし広場》

鳥取県の食の販売や特産品の販売コーナー、森林・林業・木材産業、観光等の紹介コーナー、郷土芸能を披露するステージをご覧いただけます。

カウントダウンイベント IN 奥大山・江府町を開催

全国植樹祭の開催をみなさんにお知らせするため、植樹会場の「めぐみの森」（国立公園奥大山鏡ヶ成高原）でカウントダウンイベントを11月5日に開催しました。カウントダウンボードのお披露目や参加者みんなでブナの苗木などを植樹しました。



江府町長や日野総合事務所長、江府小学校児童らが出席。式典の後、カウントダウンボードはJR江尾駅に設置されました。

とっとりグリーンウェイブ、県内で展開中！



「とっとりグリーンウェイブ」とは、県民、企業、ボランティア等の多くの皆さんが行うふるさととの森・川・海などの環境を守りはくむ活動を県内全域に広めていく運動のことです。

この運動を、緑豊かな鳥取県の環境の良さを全国にアピールする県民運動として発展させるため、中心となる方々を「美鳥（みどり）の大使」に認定しています。

美鳥の大使による県民運動は、平成25年に鳥取県で開催される「第30回全国都市緑化とっとりフェア」「エコツーリズム国際大会2013 in 鳥取」へと広がっていき、環境日本一の鳥取県を目指します。

全国植樹祭に向けて準備が進んでいます。

記念式典の主人公に選ばれました！

式典のプロローグで上演する創作劇「大山森話(だいせんしんわ)」の主人公として、境港市立外江小学校6年の首藤紗弥（しゅとう さや）さんが選ばれました。

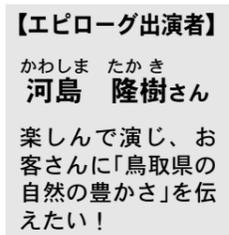
また、式典のエピローグ出演者として、米子市立明道小学校5年の河島隆樹（かわしま たかき）さんが選ばれました。

創作劇「大山森話」は、木や森と共生することの大切さを子供と木の精の語らいで表現する劇で、脚本・演出は「鳥の劇場」芸術監督の中島諒人（なかしま まこと）さんです。主人公に選ばれた二人は、本番に向け稽古に励んでいます。



【創作劇主人公】

しゅとう さや
首藤 紗弥さん
 しっかり練習していい歌が歌えるように頑張りたい！



【エピローグ出演者】

かわしま たかき
河島 隆樹さん
 楽しんで演じ、お客様に「鳥取県の豊かさ」を伝えたい！



大事に苗木を育てています！スクールステイ

全国植樹祭で参加者が実際に植える苗木の一部は、「スクールステイ」として県内の小学校に預け、育ててもらっています。日野郡内では、平成23年12月から江府町立江府小学校の児童のみなさんに、エノキやシラカシなどの苗木のお世話をお願いしています。水やりや苗木の元気チェックなど、大事に育ててもらっていて、来春の全国植樹祭が楽しみです。



問い合わせ先
 第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会事務局（農林水産部全国植樹祭課） ☎ 0859 (31) 9364

食のみやこ鳥取県

第10回日野川源流米コンテストが開催

11月11日(日)、JA鳥取西部直売所ふれあい村アスパル(日吉津村)において、『食のみやこ鳥取県第10回日野川源流米コンテスト』が開催されました。当日は、悪天候にも関わらず、多くの人で賑わい、日野町の大夢多夢さんによるおにぎり、だんご汁の無料配布や、江府町の『菖風社』による神楽の演舞も披露されました。この源流米コンテストには日野郡3町と旧溝口町を含む地域から264点の出品があり、当日は最終審査に残った上位4名のお米を一般審査員に食べ比べていただきました。栄えある最優秀賞(鳥取県知事賞)は農事組合法人エコファームHOSOYA(代表理事 三上惇二さん 日南町)が受賞されました。なお江府町からは梅田茂さん(下蚊屋)と中川正春さん(江尾)がそれぞれ奨励賞を受賞されました。

受賞者は以下のとおりです。(敬称略)

最優秀賞(知事賞)

農事組合法人エコファームHOSOYA

(代表理事 三上惇二 日南町)

優秀賞(上位4名の内、最優秀賞を除くもの)

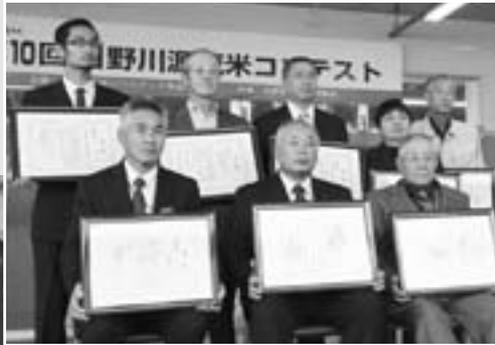
松本優哉 代表 松本洋一(日野町)

田邊拓克(日南町)

海藻米研究会 佐伯忠重(日南町)

奨励賞(上位10名の内、最優秀賞、優秀賞を除いたもの)

船越 勲(日南町)



▲受賞者のみなさん

特別賞(食味値最高点)

松本優哉(代表 松本洋一 日野町)

食味値・89ポイント(計測機器・株式会社サタケ米粒食味計RCTA-11A)

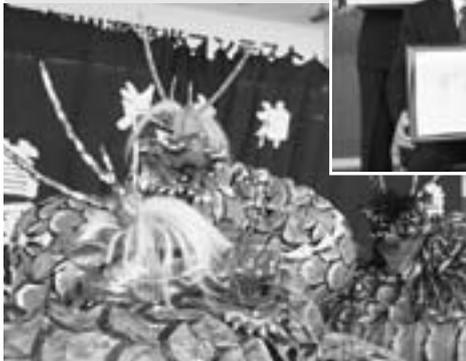
梅田 茂(江府町)

坪倉容一(日南町)

海藻米研究会 三上惇二(日南町)

中川正春(江府町)

海藻米研究会 高橋秀紀(日南町)



▲菖風社による荒神神楽

奥大山江府町
関西交流会を開催

11月11日(日)、大阪市で「平成24年度奥大山江府町関西交流会」(河上勲会長)を開催し、9名の関西在住の本町出身者の方々にご参加いただきました。

総会では、江府町の近況報告や本年度の事業説明を行い、地域活性化のための活発な意見交換が行われ、懇親会では、江府町が紹介されたDVDを放映。お互いの近況報告、故郷の思い出ばなしに話が弾んでいました。



▲笑顔で記念撮影



新教育長に 加藤泰巨氏が就任

この度教育委員の改選があり、11月30日を任期に藤原教育長が勇退されました。藤原教育長は平成16年江尾小学校を退任され、教育長に就任。以来9年江府町教育行政の推進に努められました。

加藤新教育長は池の内在住で、江府小学校長を退職後、この度教育長への就任が決まったものです。

着任にあたって、「12月1日から教育長を拝命し、職の重さを考えると身の引きしまる思いです。これまでの教育長様が築かれた実績をもとに、自分が歩んできた教職などの経験を生かしながら、江府町のために恩返しをしようと考えています。そのためには、何よりもまず町民の皆さんの声を聞きながら職務を遂行することが大切だと思っています。今後は、皆さんが健康で意欲を持って学習でき、生きがいを持てるような環境づくりに努めたいと思います。」とあいさつをされました。



▲新教育長 加藤泰巨氏

雪と紅葉の大山を背に バーガーを堪能

「とつとりバーガーフェスタ2012・奥大山オートラムフェスタ」が11月3日(文化の日)、

奥大山スキー場で開催され、家族連れなどが秋晴れの下、雪化粧した大山と紅葉という絶景を楽しみながら、県内外のご当地バーガーを堪能。



10月に大山寺で開催された同フェスタの「全国各地バーガーグランプリ」で2連覇を達成した「別海ジャンボホタテバーガー」(北海道)をはじめ、7都道府県8団体のバーガーが出演。江府町からは、「奥大山おこわ飯バーガー」(おかもと旅館)を、姉妹町の西ノ島町から「スリーミーバーガー」(注)が出店され、買い求める列が絶えませんでした。また、「ヤコブの杖」「アペゼ」のスイーツも会場で販売、「みちくさ」からは軽トラックに野菜を満載して道路脇で販売するなど、訪れた紅葉狩りのお客さまに大変好評で一日中賑わいました。

注 魚のすり身(スリミ)で作ったバーガー

江府町交通安全指導員 カーブミラー清掃を実施

11月18日(日)に、町の交通安全指導員の皆さんが、カーブミラーの清掃活動を行いました。

この活動は、指導員が毎年実施しており、カーブミラーの清掃と併せて、交通設備の不備や破損のチェックも行っています。

今年は米沢地区のカーブミラー82基を清掃しました。中には汚れがひどいカーブミラーもありましたが、一つひとつ丁寧に清掃し、非常に見えやすくなりました。



▲点検・清掃活動を行う交通安全指導員のみなさん



第14回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会のご報告

2部門で特別優秀賞受賞！

11月22、23日の2日間、長野県木島平村で第14回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会（主催米・食味鑑定士協会ほか）が開催され、本町からは、11月11日にJA鳥取西部アスバル（日吉津村）で開催された「第10回日野川源流米コンテスト」の成績優秀者をはじめ一般の部に10点、小学校部門に1点が出品されました。

ほか、小学校部門では江府小学校5年生が初参加以来3年連続で特別優秀賞に選ばれました（小学校部門については機械による測定のみで賞を決定）。

また、一般部門に出品した10点のうち5つが食味値85点以上で2次審査まで進むという過去最高の成績でした。

○江府小学校5年生に賞状伝達

「環境王国部門」で末次輝夫さん（杉谷）が特別優秀賞受賞！
「小学校部門」で江府小学校5年生が3年連続特別優秀賞受賞！
国内でも最大規模の今大会には過去最高の3,915点の出品がありました。

審査方法は、食味計（一次審査）と味度計（2次審査）と呼ばれる機械測定で総合部門と各部門賞の最終審査ノミネート者が決まり、食味鑑定士の食べ比べによる投票で、金賞とそれに続く特別優秀賞が決まります。

末次さんのコシヒカリが「環境王国部門」で特別優秀賞に輝いた

11月27日、江府小学校体育館で小学校部門特別優秀賞の伝達式を行い、竹内町長から5年生を代表して佐々木貴也君と川上理子さんに賞状と盾が手渡されました。



江府小学校5年生は毎年、空場語さん（小江尾）をはじめ地域の皆さんのご指導により田植や稲刈りの作業体験や生育観察などの学習を行っています。

佐々木貴也君が「田植や稲刈りは腰が痛かったけど、全員が泥だらけで頑張りました。これからもご飯をたくさん食べて日本の米作りを守ります。」とお礼の挨拶を行いました。

○末次輝夫さんに賞状伝達

11月28日、末次さんを町長室にお招きし、環境王国部門特別優秀賞の伝達式を行い、竹内町長から賞状と盾が手渡されました。

同部門は江府町から4年連続の受賞で、末次さんのお米は「味度」とよばれる炊飯状態での測定数値が87・3点と高く、おいしいお米として受賞につながりました。



末次さんは、「これからは、収穫量ではなく美味しさにこだわった米作りが大切になるので、直売所での試食など消費者へのPRにも取り組みたい。今年の受賞を励みに来年も頑張ります。」と喜びを語っておられました。

来年の第15回大会は宮城県七ヶ宿町で開催予定です。

○長野県木島平村

会場の木島平村は長野県北部の豪雪地帯に位置し、面積99・31km²、人口約4,800人の小さな村で、海拔320m〜750mの間に26の集落が点在しています。

上信越国立公園の北側に位置するカヤの平高原にはブナの原生林が広がり、そこから流れ出る良質の水と豊かな自然環境を活かした農業が盛んです。

お米のほかにもズッキーニ、アスパラガス、ヤーコンなどが栽培される他、雄山火口（おやまぼくち）とよばれるヤマゴボウをつなぎに使ったソバや焼酎、ワイン、味噌など農産物加工も盛んです。

また、村で定めた栽培方法や食味の基準に合格したお米はプレミアム木島平米として「村長の太鼓判」の商品名で販売されています。

この他にも産・官・学の連携により地域住民の活動と都市住民との交流活性化などを目的に「農村文明塾」といったユニークな取組も行っています。





12月1日は「世界エイズデー」

1988年にWHO（世界保健機関）が12月1日を“World AIDS Day”（世界エイズデー）と定め、エイズに関する啓発活動等の実施を提唱しました。

日本でもその趣旨に賛同し、エイズに関する正しい知識等についての啓発活動を推進し、エイズまん延防止及び患者・感染者に対する差別・偏見の解消等を図ることを目的として、12月1日を中心に「世界エイズデー」を実施しています。

■検査・相談窓口

- HIVウイルス感染の一番の原因は性的接触によるものです。
- 感染が心配な時は検査を受けましょう。
- HIV検査・性感染症検査は、米子保健所(0859-31-9317)で受けることができます。

■エイズの現状

- 日本ではHIV感染・エイズ患者は増え続けています。
HIV感染者数1,056件、AIDS患者数473件（平成23年度データより）
- ※身近な問題として、エイズを考えてみませんか？
- ※正しい知識を身につけ、感染予防に努めましょう！



障がい児に関する手当等のお知らせ

障害児福祉手当

- 受給できる人 重度の障がいがあり、日常生活に常時の介護を要する20歳未満の在宅の方。
ただし、次のような場合には、手当を受けることができません。注意してください。
(1) 児童が児童福祉施設（通園施設を除く）に入所しているとき。
(2) 児童が障がいを支給理由とする公的年金を受けとることができるとき。
- 支 給 額 手当は認定されると、認定請求日の翌月分から支給されます。
○児童1人につき：月額 14,280円

特別児童扶養手当

- 受給できる人 障害基礎年金と同程度の障がいのある20歳未満の児童を扶養している保護者の方など。
ただし、次のような場合には、手当を受けることができません。注意してください。
(1) 児童が児童福祉施設（通園施設、養護学校の寄宿舎を除く）に入所しているとき。
(2) 児童が障がいを支給理由とする公的年金を受けとることができるとき。
- 支 給 額 手当は認定されると、認定請求日の翌月分から支給されます。
○児童1人につき：1級 月額 50,400円：2級 月額 33,570円

■申請窓口 江府町福祉事務所（役場福祉保健課内：☎ 75-6111）

- 注意事項 (1) 身体障害者手帳、療育手帳や精神障害者保健福祉手帳とは異なる基準により認定されます。
(2) 本人、配偶者または扶養義務者の、所得などに応じた支給制限があります。

大切なお知らせ

**インフルエンザの
予防接種について**

インフルエンザは、1月～2月にかけて流行のピークをむかえます。

今年度においても、町民のみなさんを対象にインフルエンザ予防接種の費用助成を行います。すでに、各集落の健康推進委員を通じて、または、郵送等により、受診券（助成券）をお配りしています。接種期間は、10月15日から来年の1月31日までです。

また、受診券（助成券）と併せて、券が使用できる医療機関も明記しております。各自で選びいただき、接種してください。

助成が行える医療機関で接種されたのに、受診券（助成券）を使用されなかった場合は、領収書と予防接種済証を福祉保健課へお持ちいただければ、助成を受けることができます。

※ワクチンの効果が出るまで2週間くらいかかります！

12月中旬までの予防接種を

お勧めしています!!



■問い合わせ先

福祉保健課 保健係

☎ (75-6111)

食改おすすめ

チャレンジクッキング

(12月)

ちょっと食べ過ぎになるこのシーズン、どうせ食べるなら「低カロリー、低炭水化物」おやつに挑戦してみませんか？

クリームは豆腐をベースにするので簡単につくれます。小麦粉やバターを使わないクリームなのでとってもヘルシーです。甘味は各自のお好みで調整してみてください。

(食生活改善推進協議会)



1人分 エネルギー 167kcal カルシウム 85mg
蛋白質 6.5g 塩分 0.1g

豆腐シュークリーム

シュー皮 材料 (6個分)

薄力粉 30g
強力粉 10g
卵 (小さめ) 2個
バター 40g
牛乳 30ml
水 30ml
霧吹きと水 適宜

作り方

- ① オーブンを190度に予熱する。(しっかり温めておく)
- ② 粉は合わせてふるっておく。たまごは割りほぐしておく。
- ③ 鍋に、水、小さく切ったバター、牛乳を入れ沸騰させて火をすぐ止める。
- ④ ③に粉を入れ、弱火で20秒程度加熱。しっかりと練り合わせる。
- ⑤ 火を止め卵を少しずつ加えて練り合わせる。(もったりとする程度の生地になれば卵は残します。固めの生地がおすすめ！)
- ⑥ 生地が熱いうちに絞り出して天板に直径4cmくらいになるよう6個しぼりだす。
- ⑦ 生地全体に霧吹きで水をかけ190度のオーブンで20分、そのあと180度で10分程度焼く。焼きあがってもすぐ出さず10分程度はそのままオーブンに置いておく。

クリーム 材料 (6個分)

豆腐 (絹ごしまたは木綿) (1丁分)
砂糖 大さじ1 (量はお好みで)
ココア (砂糖入り) 大さじ3
ブランデー 適量
(ブランデーの代わりに、お子様にはバニラエッセンス)

作り方

- ① 豆腐を手で崩してからレンジで2～3分加熱し、ざるに入れしばらく置いて水を切る。(水切り後200g前後)
- ② 豆腐・砂糖・ココア・ブランデーを軽く混ぜてからミキサーに入れ、なめらかになるまでまぜる。(または豆腐を裏ごしした後、調味料を入れる。)
- ③ ②を冷蔵庫で冷やす。(冷えると少し硬くなります。)
- ④ 冷えたクリームを絞り袋に入れて切り込みを入れたシュー皮の中に絞り出す。(スプーンですくって入れても良い。)



平成25年度

子供の国保育園園児募集



入園の案内

- ◇入園対象児
家庭で保育に欠ける就学までの児童
- ◇募集定員
150名
- ◇開園時間
平日：7時30分から18時30分
土曜日：7時30分から13時00分
- ◇通常保育時間
8時00分から16時00分
(土曜日は12時00分)

【入園説明会開催予定日】

日時：2月7日（木）12時30分から
場所：子供の国保育園

【体験入園】

日時：2月21日（木）10時から
場所：子供の国保育園

☆保育園の友だちと一緒に遊びましょう。

- ◇保育料
保護者の平成24年中の所得税額などにより決定します。
- ◇その他
*障がい児保育、一時保育を行っています。
ご相談ください。
*広域入園児童の受け入れを行っています。
*同一世帯内児童の同時入園の場合や、多子世帯の児童入園に対して、保育料の軽減を行っています。



詳しく保育内容などお知りになりたい方は、保育園にお問い合わせください。

申込・お問合せ先 子供の国保育園 ☎75-2704
教育委員会事務局 ☎75-2223



「生徒たちに歌で気持ちを伝えたい」と堀内佳さん

11月24日、江府中学校で恒例となった人権コンサートが開かれました。今回で8回を迎えた人権コンサートは、高知県から堀内佳さんをお迎えし、行われました。堀内さんは、乳児のときに両眼を失い、全盲となられた方です。

コンサートでは、歌を通して気持ちを伝えたいと、美しい歌声や音楽が体育館に響きました。歌と歌の合間には、「生きることは」、「障がいとは」、「地震とは」などをテーマに感じたことを話されました。会場にいた生徒たちは、コンサートを通して今の自分を見つめ直すよい機会となりました。

ここに
事業

人権コンサート
(江府中学校)



第64回 人権週間 12月4日～10日

啓発重点目標

「みんなで築こう 人権の世紀」

～考えよう相手の気持ち 育てよう思いやりの心～

国際連合で世界人権宣言が採択された日を記念して法務省と全国人権擁護委員連合会が毎年12月10日を最終日とする1週間（12月4日から10日まで）を「人権週間」と定めて集中的に啓発活動を行っています。

是非この機会にあなたの周りを見まわして、「思いやりの心」や「かけがえのない命」についてもう1度考えてみましょう。

町では、人権擁護委員が12月4日の初日に町内全地域をくまなく巡回啓発いたしました。

啓発活動年間強調事項

- ① 女性の人権を守ろう
- ② 子どもの人権を守ろう
- ③ 高齢者を大切にする心を育てよう
- ④ 障がいのある人の自立と社会参加を進めよう
- ⑤ 部落差別をなくそう
- ⑥ アイヌの人々に対する理解を深めよう
- ⑦ 外国人の人権を尊重しよう
- ⑧ HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくそう
- ⑨ 刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう
- ⑩ 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- ⑪ インターネットを悪用した人権侵害をやめよう
- ⑫ 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- ⑬ ホームレスに対する偏見をなくそう
- ⑭ 性的指向を理由とする差別をなくそう
- ⑮ 性同一性障がいを理由とする差別をなくそう
- ⑯ 人身取引をなくそう
- ⑰ 東日本大震災に起因する人権問題に取り組もう



巡回啓発中の委員





人権コーナー
和い輪いひろば③⑩

「自分以外の人をまるごと受け入れる」ことの何と難しいことか。
人は自分と考え方などが相容れない他人をどうしても排除してしまいがちになる。それで特に日常生活になんら支障はない。ホントにそれでいいのだろうか。その人の一部分だけ見て、分かったつもりになってはい shouldn't だろうか。改めて、問い直してみたい。

まず、まるごと寄り添うこと！

「あなたの言ってることは、もっともだ」という台詞、それは先日、米子市で観た劇の中で、何度も聞いた台詞。いつまでも心に残った。カミサマと呼ばれる町のカウンセラー的存在の老女が、相手の話を聞いたときにその台詞をまず言う。そして、人々の心のコリを吸い取っていく。その一言で、村人はまるごと受け止めてもらい、ひと息つく。その後、自分を見つめ直して暮らす話であった。「よき、アドバイザーになる前にまずよき聴き手になること」頭では分かっているけれど実際難しい。ついつい、最後まで話を聞かずに、自分のことを話し始めたり、よかれと思いいアドバイスをしたりし、相手の気持ちに寄り添えず、後悔することが多い。

人を大切にすると、相手の心にいかに寄り添うことではないかと考える。寄り添うためには相手の気持ちをまず知ることが元となる。

今年度の町人権・同和教育講座<たんぼぼ学級>第6回で「犯罪被害者遺族の想い」という演題で徳田豊、さよ子ご夫妻（鳥取県犯罪被害者の会）の話を聴いた。聴く前に講演の内容は、加害者への無念の思い、国へ処罰に対して訴えたいことなどの内容ではないかと予想していた。しかし、聴いてみると非常に異なっていた。なんと、ただ一つ国にお願いしたいのは『自分たちの年一回無料の健康診断』というささやかなものであった。

ご夫妻は、最愛の息子を10年前の12月。飲食街でちょっとした事で、暴力団4人に暴力を受け、逃げ込んだビルの階段から転落し、突然亡くなる。

初めは、死がなかなか受け入れられない。圧倒的な無力感。その後、加害者に対して、刑事裁判が行われる。事件のなまなましい詳細、息子が死に至るまでの状況を事細かに再現され、しかも、相手方には弁護士がつき、その行為をフォローしていく。そして、刑期は長くて6年、短くて2年で元気に出所してくる。絶望し、悲壮感で狂った精神状況になる。民事裁判が行われる。息子の死を認め、命をお金に換算するという恐ろしい現実。お金の問題ではなく、加害者に対して起こせる行動がそれぐらいしかない。次に二次被害。マスコミ（面白半分は真実でなく主観で報道しようとする）、友人、知人、地域の人が、分かっているようなふりをしての言葉かけ、悪気はなくても慰めでなく、とげになることがある。何か言うのではなく、寄り添って話を聴いてほしいと思う。それ以来、体に心に変調をきたしてしまい、年一回の健康診断をのぞんでおられる。

あまりにも日常すぎた願いで、どれだけ辛い思いの日々を送っておられるかと推察する。ご夫妻の講演を拝聴して、初めて被害者遺族の想いを知る。

私に出来ること、まずいい聴き手になり、相手の想いを知ることでないかと思う。『いい聴き手になるために』という下記のような記事を見つけた。このことを心に刻んで、まるごと寄り添える人になりたいと思う。

- ①自分の口を閉ざす練習をする
- ②相手の人格を尊重。助言、結論、説教、自分の考えはいらない
- ③相手の身になり、話を素直に聞いて共感する力を身につける
- ④相手を評価せず、ありのままを受け入れる
- ⑤聴くときは、自然な状態の自分である
- ⑥普段から多くのことに関心を持ち、多様な経験を積む
- ⑦認知症の人の傾聴は、認知症の症状をよく理解した上で、その人の世界をともに楽しむつもりで話を聞く
「新傾聴ボランティアのすすめ」（ホールファミリーケア協会編より）

ペンネーム かすみ草

…このコーナーでは、みなさんからの投稿をお待ちしています。教育委員会人権同和对策室までお寄せください。

学校お助け隊だよ

前月号でもお知らせしましたが、小学2年生にとっては、難関でもあり楽しみでもあるかけ算九九を学習する時期になりました。

みなさんにもご記憶があるかと思いますが、九九は、何度も何度も唱えて覚えるしかありません。しかし、そこは小学2年生、誰かに聞いてもらうことが一番の励みになります。



上手に言えたのでシールを貼ってもらいました

そこで、お助け隊では、昨年引き続き、11月8日、第1回目の子どもの九九の聞き取り支援を行いました。先生や家族以外の人に聞いてもらうということ、最初は、恥ずかしがる子ども達もいましたが、お助け隊のみなさん

に、「よくできたね」「ちゃんと覚えたね」などとほめてもらうと、思わずにっこり。進んで聞いてもらうようになり、15分間があつという間に過ぎてしまいました。



いつの間にか長蛇の列

「ふだん、聞いてもらえないお助け隊の人に聞いてもらって、ちゃんと九九を言うことができてよかったです」といった感想も聞かれ、地域の方の学習支援の力を改めて感じる事ができました。子ども達の意欲付けの支えとなる学習支援にも、引き続きご協力をお願いします。

【お問い合わせ先】

学校支援地域本部事務局
☎(75) 2223

保・小・中連携だよ

合同授業研究会がありました



授業者は中学校の河上先生。題材は古典の「竹取物語」です。『小学6年生に「竹取物語」の魅力伝えていこう』という学習の1コマを参観しました。



中学1年生の授業を、小学校の先生方も参観されました。

授業後に開かれた授業研究会では、小学校・中学校それぞれの先生方により、熱心に研究協議がなされました。

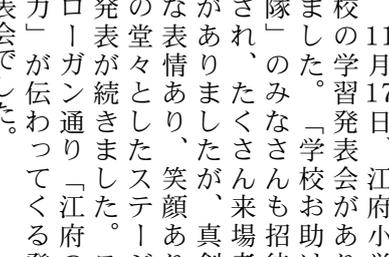
教師にとつて、「授業力の向上」は永遠の課題。そのため、小学校や中学校では、一つの授業をみんなで参観し、授業の良いところ、また改善すべきところについて検討する授業研究会を実施しています。

これまでも、小学校の先生が中学校の授業を参観したり、中学校の先生が小学校の授業を参観したりすることはありましたが、小中連携をより一層深めるため、11月20日、小中合同の授業研究会が開かれました。

研究会では、小中の先生方が一堂に会し、子ども達への課題の与え方、解決のさせ方などについて、熱心に協議されました。「話す・聞く」といった能力は、小中問わず力をつけていかななくてはなりません。ペア学習、グループと学習など目的達成のための方法はいろいろありますが、同じ資質・能力を伸ばすために授業改善に取り組んでいるということを共通理解する場にもなりました。

積極的に発表する中学1年生の姿は、中学校での指導もさることながら、小学校での指導も活かされているのでしょうか。

子ども達だけでなく、先生方の交流の場にもなった、授業研究会でした。



腹から声出し 胸をはり
江府の力を 見せつけろ！

11月17日、江府小学校の学習発表会がありました。「学校お助け隊」のみなさんも招待され、たくさん来場者がありましたが、真剣な表情あり、笑顔ありの堂々としたステージ発表が続きました。スローガン通り「江府の力が伝わってくる発表会でした。」

カーニー先生のほのぼのコラム④

Hello, everyone,

November is coming to an end as I write this article. It's been getting colder every day, but I've been able to have myself some interesting experiences regardless of it! At the beginning of November, I visited Hiroshima for the first time. It was an amazing trip. First, I went to Miyajima to visit the torii gate I had heard so much about from some of my friends. What a beautiful sight it was! I then went to the A-Bomb Dome and the Hiroshima Peace Museum; I felt really bad for Japan and her people after reading and looking at all the information they had available. I remember learning about World War II and the effects it had all over the world when I was in high school, but it was not covered as in depth as it was in this museum. I also ate okonomiyaki for the first time. It was delicious!

Last weekend, I went to Korea. Other than Japan, I've never been to another country. I took a ferry from Sakaiminato on Saturday evening and arrived in Donghae on Sunday morning. From there, it was a five-hour train ride to Seoul. It was very cold while in Korea, and it rained almost every day I was there. Once in Seoul, I visited the various districts within the city such as Samseong (where the largest mall in all of Asia is: COEX Mall), Gangnam, Itaewon, and other places. It was very fun and interesting to be in another country where you can't speak their language at all! However, I met a lot of people who were able to speak Japanese and English, so I was able to get around. I rode the subway system a lot while there. That was the first time I've ever been on the subway. And finally, I had myself some Korean BBQ before I left. It was delicious.

November has been very busy for me, so I'm glad December is coming quickly. Christmas is my favorite holiday, and I can't wait to start decorating. Stay warm, everyone!

Sincerely, Connie

こんにちは、みなさん。

11月もう終わろうとしています。毎日少しずつ寒くなってきていますが、そんな中、いろいろなおもしろい経験をしています。11月の初めに、私は初めて広島を訪れました。それはすばらしい旅行でした。最初に、私が何人かの友達から何度も聞かされていた鳥居を見に、宮島に行きました。それは何と美しい光景だったでしょう!その後、原爆ドームと広島平和記念資料館に行きました。私は、そこに展示されたものを見た時に、日本のみなさんに本当に申し訳ない気持ちになりました。高校生の時に、第二次世界大戦や世界中で起こったことについて勉強したことを覚えています。この資料館で学べるほどには深く勉強していませんでした。また、私は初めてお好み焼きを食べましたが、とてもおいしかったです。

先週末、韓国へ行きました。実は、私は日本以外の外国へ行ったことがありません。土曜の夜に境港からフェリーに乗り、日曜の朝にトンヘに着きました。そこからは、ソウルへの5時間の列車の旅でした。韓国にいる間は非常に寒く、雨がほぼ毎日降っていました。ソウルでは、市内のいろいろなところへ行きました。サムソン(そこにはアジア最大のモール、COEXモールがあります。)、カンナム、イテウォンなどです。言葉を全く話すことのできない国で過ごすことはとても楽しくおもしろかったです。でも、実際は日本語や英語を話す人がたくさんいたので、私は自由に移動することができました。そこで地下鉄にも乗りましたが、地下鉄に乗るのは初めてでした。また、日本に帰る前に韓国のバーベキューを食べましたが、とてもおいしかったです。

11月は非常に忙しかったので、12月がすぐにやって来そうでうれしいです。クリスマスは私の好きなお休みです。クリスマスの飾り付けをするのが待ち遠しいです。

みなさん、暖かく過ごしてくださいね!

では、また。カーニー

農地・水保全管理

支払交付金制度を研修

平成24年度江府町農業委員会視察研修を実施

本年は、10月24日から26日の日程で農地・水保全管理支払交付金の事業（以下「農地・水保全事業」という。）を中心に長崎県での視察研修を実施しました。

視察地の選定においては、5年に一度の第10回全国和牛能力共進会が開催されましたので、この共進会応援と合わせて長崎県で研修することになりました。

まず、農地・水保全事業の概要についてふれておきたいと思います。

- 1 この事業は「地域の手で農地・農業用水や地域環境を守る取り組み」に対して交付金が交付される国庫事業です。
- 2 取り組むためには集落等の農業者とそれ以外の地域住民や自治会、関係団体などが参加する地域活動組織を設立して共同活動する必要があります。
- 3 交付金は2種類あって、両方取り組み合わせることも可能ですが、①「共同活動支援交付金」は、農地、水路、農道等の保全管理活動（点検、補修作業など）と景観形成等の農村環境活動に対して対象水田面積10a当たり4,400円が交付されます。

▲指方地区の水路と水門 海岸堤防より

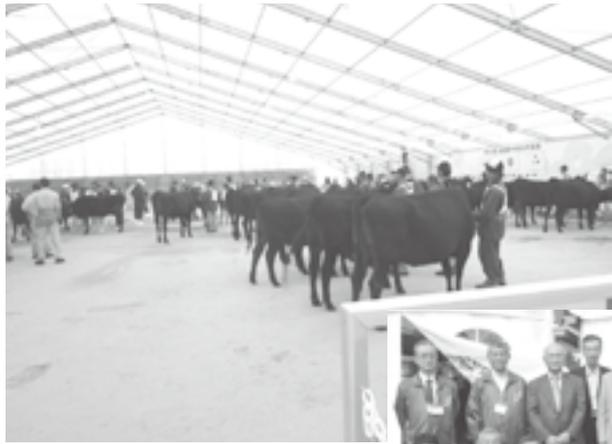


②「向上活動支援交付金」では農業用水・排水路、農道などの施設の長寿命化のための補修・更新の活動（共同作業、発注工事）に対して対象水田面積10a当たり4,400円が交付されます。（なお、畑も半額程度の単価で交付金があります。また、交付金は国が半分、県と町が4分の1ずつ負担します）この事業は平成28年までの継続事業です。

さて、このたびの視察先は、長崎県佐世保市長畑町及び指方町でした。佐世保市といえば長崎市に次ぐ県第2の町であり港町として有名ですが、今回の視察地は市の中心部から15kmほど離れた東南端の地域で、市内では農業・漁業の



▲JA宮地区東部地区土地改良区連絡協議会



▲審査会場で体重測定を待つ鳥取県出品牛



▲共進会 鳥取県西部地区ブースにて

盛んな地域でした。

まず、佐世保市東部地区土地改良区連絡協議会を訪れました。JA宮支所の2階会議室に案内され事務局長の橋口さんから説明を受けました。

地域の概況としては農業振興地域の農用地区域であって、主な農産物はブランドである「西海みかん」で、水稲は多くはないが、「ヒノヒカリ」と「にこまる」の作付けが主であるということでした。

この土地改良区連絡協議会は11の土地改良区が加入しており事務局が事務処理を集約して行っており、その事務の一つとして「農地・水保

全事業」の事務全般も受託しています。

普通であれば、集落など活動組織ごとに事務をすることになるが、この協議会では①共同活動支援活動に取り組む組織が7組織、②向上活動支援活動に取り組む組織が2組織で、計9組織の事務処理をまとめて行っている。

事業を全般的にみると共同活動では、農道や水路の草刈り、泥上げなどへの日当支払いがほとんどで、向上活動では土地改良区の老朽化した施設の更新等に使うということでした。江府町ではまだ取り組んでいないが、という質問に対して、少し驚いたように事務処理も簡単なものだから是非取り組むべきだと助言されました。つづいて、橋口事務局長さんの案内で農地・水保全事業の事例として、近くの指方環境保全活動組織を見せていただいた。指方地区は干拓で造成された土地（実際には島だという）で海抜0m地帯である。過去には大潮時にたびたび農地などの冠水被害が発生していたため、水路の大型排水ポンプ施設が設置されていた。

指方地区の農地・水保全事業は、対象農用地面積35haであり、水路の泥上げが共同活動の中心になっており、水路が大きく長いので大変助かっている。また、環境活動は水生生物の環境調査を行っているとのことでした。

以上が農地・水保全事業についての研修だったが、視察地域は水田が少なく、急傾斜地でないことから中山間地直接支払交付金への取り組みは少なく、「農地・水保全事業」への取り組みが多いようでした。

また、事務処理は簡単だからと言われたが、いざ実施するとなるとそう簡単とは思われず、

この橋口事務局長さんのような専属的な事務者がいるために簡単なわけで、指導機関等の体制整備とリーダーが必要だと思われました。視察地は特別に表彰を受けた地区ということではないが、複数組織の事務受託体制などで参考になるものでした。

つづいて昼食の後、第10回全国和牛能力共進会・長崎大会会場へ向かいました。

前回の鳥取県大会から5年が経過した長崎大会はハウステンポスの隣接会場で開催されました。江府町からの出品はありませんでしたが、ブランドとしての鳥取和牛の産地評価がかかる重要な大会であるので、応援を兼ねて視察いたしました。（なお、今回出品のあった日南町からも農業委員会一行が応援に来ており、会場で会うことができました。）

当然のことながら出品者は大変な手間と労力を費やしているだけでなく、県の代表者として威信を背負っているわけでその心労も大変なものとなります。出品者、関係者に対し敬意を表したいと思います。成績は新聞等で報道されましたので省略します。

最終日は、雲仙、島原からの帰途で福岡県北九州市の生ごみコンポスト化（堆肥化）について研修しました。直接には農業委員会業務とは関係ないが、地域環境対策としてテレビでも注目を浴びた「魔法のバケツ」について、開発者である㈱ジェイベック若松環境研究所の高倉さんに説明いただいた。

コンポスト化の具体的な方法については省略しますが（ジェイベック若松環境研究所のホームページで見ることが出来ます）、安価で、容



▲(株)ジェイベック「魔法のバケツ」

器を指定しない点などの利点があり約500人が取り組んでいるということです。

さて、最後になりますが、視察地で「是非取り組むべきだ」と助言された「農地・水保全事業」については江府町ではこれまで取り組まれておりません。水路、農道等の保全管理活動については、中山間地域等直接支払交付金でも実施可能ではありますが、町内では緩傾斜のため中山間地域等直接支払交付金制度に加入していない集落や加入しても交付単価の低い地域もあります。また、農業用水・排水路、農道などの施設の長寿化のための補修・更新の活動は簡易なハード事業であり広域組織での取り組みも可能なので、老朽化した施設の対応には有効ではないかと思われました。実施に当たっては、4分の1の町費負担が必要ですが、「農地・水保全事業」の取り組みについて検討されることを望むところで。

(農業委員会研修担当 長尾)

西部地区農業者年金友の会

協議会の役員研修会が開催される

平成24年11月15日(木) 休暇村奥大山大で、西部8市町村の農業者年金友の会の役員44名が研修会を開催されました。

伊達教行江府町農業者年金友の会会長の開会挨拶の後、竹内町長が地元代表として歓迎の挨拶をされ、最初に鳥取県農業会議浜本事務局長から旧農業者年金制度の経営移譲年金を受給されている方へ、年金ストップ又は遡つての返還事例として、後継者に経営移譲をした後の経営再開の場合・貸し付けた農地の一部でも返還された場合・貸し付けた農地を転用した場合を上げられ貸借で経営移譲した農地の移動は、それ

ぞれの農業委員会事務局まで相談するよう講演されました。

次に江尾診療所武地所長から農業者の健康管理について講演いただき、統計では、現在80歳の平均余命が約10年ありその間をいかに元気に過ごしていくかを考えてもらいたい。死亡の四大原因はがん、脳卒中、心筋梗塞、肺炎だが、その中でも、脳卒中、心筋梗塞は、血圧の管理が重要で、普段の生活の中に血圧の測定と記録に関心を持つてほしいと言われ、皆さん熱心に聞いておられました。あいにくその日の鏡ヶ成は30cmの積雪となり、別世界のような様子でした。



▲農業会議浜本事務局長の講演

農業委員会総会 (11月)

審議案件すべて承認

農地法第3条許可申請
農地法第5条許可申請

1件 1件

12月の農地相談会

お気軽にご相談ください。

◎相談日 平成24年12月27日(木)

午後1時30分から4時まで

◎場所 山村開発センター

奥大山スキー場でリフレッシュ！



リフト割引券情報

リフト営業時間 8:30～17:00



町民のみなさま限定

リフト1日券を3枚進呈(中学生以下は5枚)
1日券 中学生 4,000円→1,300円 小学生 3,000円→1,000円
回数券(12枚綴) 小・中学生 2,000円→800円



シーズン券早期予約販売割引

大人 40,000円→35,000円
小学生以下 30,000円→25,000円(12月22日(土)までに申し込み下さい。)



15名以上の団体さま

リフト1日券及びレンタル料金 1割引(全員が対象)
(例)リフト1日券 4,000円→3,600円 スキーセット 3,000円→2,700円

雪マジ!19
SNOW MAGIC

この冬19才の方だけ何回乗ってもリフト無料

(ネット事前登録が必須:無料)
二次元バーコードか「雪マジ」検索



■問い合わせ先 奥大山スキー場管理課 ☎77-2828

■アクセス情報 町営バス 土・日・祝日は江尾駅～エバーランドまで運行(元旦は除く)

●江尾駅8時15分発→エバーランド8時42分着 ●エバーランド16時26分発→江尾駅16時53分着
(ただし 12月22日から3月10日までの期間)

江府町職員募集(平成25年4月1日採用予定)のお知らせ

江府町では、平成25年4月1日採用予定の職員を募集します。

希望される方は、平成24年度江府町職員採用資格試験が下記のとおり行われますので、受験してください。

■職種 一般事務

■受験資格 江府町在住者、又は出身者で昭和52年4月2日～平成7年4月1日に生まれた者

■受験申込期間 平成25年1月15日(火)午後5時までに江府町役場へ提出してください。

同日までに到着するよう郵送されてもさしつかえありません。

申込書は、平成24年12月14日(金)から、江府町役場又は西部町村会事務局でお受けとり下さい。

■受験申込先 江府町役場

〒689-4401 江府町江尾475番地

■第1次試験 日時 平成25年1月27日(日) 時間 午前9時～

場所 江府町防災・情報センター

試験種目 教養試験(高校卒業程度)・事務適性試験・性格診断検査・作文試験

■第1次試験合格発表 平成25年2月上旬合格者に通知、及び役場に掲示します。

■第2次試験 平成25年2月中旬(第1次試験合格者についてのみ実施)

試験場所・時間は、第1次試験合格者通知の際にお知らせします。

試験種目 口述試験

■第2次試験合格発表 平成25年2月下旬合格者に通知、及び役場に提示します。

■合格から採用まで 2月下旬の第2次試験合格者は、採用候補者名簿に登録されますが合格者の全員が必ず町に採用されるとは限りません。

■受験申込書の請求、お問合わせ先

江府町役場総務課 ☎75-2211

西部町村会事務局 鳥取県西部総合事務所内 ☎0859(22)2049

年末年始の閉庁・休館・休業について

空欄は、通常業務を行っています。

施設名等	12月28日(金)		12月29日(土)	12月30日(日)	12月31日(月)	元旦(火)	1月2日(水)	1月3日(木)	1月4日(金)	1月5日(土)	1月6日(日)	問合せ先電話番号
	午前	午後										
江府町役場			閉庁	←							閉庁	75-2211
江府町総合健康福祉センター			閉庁	←							閉庁	75-6111
江府町教育委員会			閉庁	←							閉庁	75-2223
子供の国保育園			休園	←							休園	75-2704
江府町老人福祉センター			閉庁	←							閉庁	75-2942
江府町防災情報センター			閉庁	←							閉庁	町公民館75-2005
江尾診療所		休診	←								休診	75-2055
江府町運動公園			閉館	←						閉館		75-3229
江府町立図書館				閉館	←				閉館			75-2005
ごみ処理施設クリーンセンターくぬぎの森			休業	←				休業				74-0333
リサイクルプラザ			休業	←				休業				0859-68-4071
くみ取り業者 いづはら			休業	←							休業	75-3701
江府町営バス					運休	←		運休				町営バス営業所 75-3388
国道路線バス(日ノ丸自動車)					← 年末年始ダイヤで運行 →							米子支店 0859-32-2121

※年末年始のごみ収集は分別収集カレンダーをご覧ください。

※役場では、閉庁日でも戸籍に関する届出(死亡届、婚姻届など)を受領します。

江府町スキー場開き

安全祈願祭のあと餅まきなどのイベントを行います。当日は、午後1時から4時までリフト無料開放。(積雪のない場合は、リフト無料開放は中止。)

■日時 12月22日(土) 10時30分から ■場所 鏡ヶ成スキー場

■問い合わせ先 産業振興課 ☎75-3222

♪江府町立図書館♪ 開館時間

平日 8:30~19:00

土日祝 8:45~17:30

☎(75) 2005

新着図書案内

* 郷土

鳥取県の歴史散歩/鳥取県の歴史散歩編集委員会

* 歴史

日清・日露・太平洋戦争を知らない子供と大人のために
誰もが書かなかった日本の戦争/田原総一郎

* 社会

おもかげ復元師の震災絵日記/笹原留似子

* 医学

いのちの使いかた/日野原重明

* 文学

94歳。寄りかからず。前向きにおおらかに/吉沢久子
無花果とムーン/桜庭一樹

* YA (小学校高学年~高校生向き図書)

14歳からわかる生活保護/雨宮処凛
ラインの虜囚/田中芳樹

* 絵本

ヒヤシンスひめ/フローレンス・バリー・ハイド
どっから たべよう/井上洋介
奇跡の一本松*大津波をのりこえて/なかだえり
変わり者ピッポ/トレイシー・E・ファー



『おもかげ復元師の震災絵日記』 笹原留似子
あのとき出逢った、ひとりひとりを忘れない——。東日本大震災後、300人以上のご遺体をボランティア復元した女性納棺師が描いた、胸に染み入る絵と言葉。



『いのちの使いかた』 日野原重明
101歳、人生の現役が贈るいのちのエール。「人生は失敗ばかり、後悔ばかり、という人ほどいのちの使いかたがあるのです」世代を超えていま伝えたいと願う「いのちの使いかた」について熱く語り下ろす一冊。

★ 閉館日のお知らせ ★

12月30日(日)~1月4日(金)は、年末年始のため図書館は閉館いたします。

図書の貸出期間は通常二週間ですが、12月16日(日)~12月21日(金)の貸出については閉館期間と返却日が重なりますので、開館初日までに返却日が延長されます。いつもより貸出日が長くなるこの機会、ぜひご利用ください。本年もたくさんのご利用、誠にありがとうございました。

12月 DESEMBER 行事カレンダー 1月 JANUARY

日曜日	曜日	行事名	場所	時間
14	金	赤ちゃん健診 広域隣保活動(元気クラブ)	総合健康福祉センター 本町5丁目集会所	受付 13:00~13:30 10:00~12:00
15	土			
16	日			
17	月	公民館講座(墨彩画) 広域隣保活動(囲碁教室)	防災・情報センター 本町5丁目集会所	13:30~15:30 13:00~15:00
18	火	1歳6か月児・2歳児・3歳児健診	総合健康福祉センター	受付 13:00~13:30
19	水	公民館講座(大正琴)	防災・情報センター	10:00~12:00
20	木	もの忘れ外来	総合健康福祉センター	13:00~16:00
		補聴器修理相談会 (トーンシン補聴器センター)	総合健康福祉センター	13:30~15:00
		公民館講座(陶芸)	高齢者創作館	13:00~16:00
		明德学園	防災・情報センター	9:30~16:00
21	金	公民館講座(フラダンス)	防災・情報センター	14:00~15:30
		公民館講座(生花)	防災・情報センター	19:00~20:30
		江府小学校2学期終業式	江府小学校	
22	土	公民館講座(和紙折り紙)	防災・情報センター	13:30~15:30
		公民館講座(ガラスアート)	防災・情報センター	10:00~12:00
23	日	天皇誕生日		
24	月	振替休日		
25	火	公民館講座(パッチワーク)	防災・情報センター	13:30~15:30
		江府中学校2学期終業式	江府中学校	
26	水	補聴器修理相談会 (中国補聴器センター)	総合健康福祉センター	9:30~11:30
		公民館講座(樹脂粘土)	防災・情報センター	13:30~15:30
27	木	公民館講座(ヒップホップ)	防災・情報センター	19:00~20:30
		広域隣保活動(生花教室)	本町5丁目集会所	14:00~16:00
		農地相談会	山村開発センター	13:30~16:00
28	金			
29	土			
30	日			
31	月			

日曜日	曜日	行事名	場所	時間
1	火	元旦		
2	水			
3	木	新春マラソン大会	江尾駅周辺	9:30~12:00
4	金			
5	土			
6	日	出初式		
7	月	児童館新春書初め大会	明道児童館	9:30~12:00
8	火	江尾の会	総合健康福祉センター	9:30~11:30
		公民館講座(パッチワーク)	防災・情報センター	13:30~15:30
		江府小・江府中3学期始業式	江府小・江府中	
9	水	公民館講座(書道)	防災・情報センター	13:30~15:30
		消費者相談	役場本庁舎	9:00~16:00
10	木	家族の会	総合健康福祉センター	10:00~12:00
		もの忘れ外来	総合健康福祉センター	13:00~16:00
		公民館講座(ヒップホップ)	防災・情報センター	19:00~20:30
11	金	ぼちぼちクラブ	総合健康福祉センター	13:30~15:30
		公民館講座(生花)	防災・情報センター	19:00~20:30
12	土			
13	日	江府町成人式	山村開発センター・日隣園	12:30~16:00

《12月の納税は》

町 県 民 税 4 期
国民健康保険税 7 期
介護保険料 7 期
後期高齢者医療保険料 6 期

納期限は12月25日(火)です。(口座振替は12月25日)

今月の国民年金

納付期限 12月分 平成25年 1月31日まで

日本年金機構から送られている納付書を添えて金融機関でお支払ください。

なお、口座振替の方は、左記期限が振替日です。

応援ありがとうございます!

ふるさと納税

延申込件数 107件
(前月比+37件)

延寄付金額 138万円
(前月比+43万円)

平成24年
12月1日
現在

柿原 清水 幸子 本人退院
半の上 徳岡まゆみ 本人退院
貝田 森田 依子 本人退院
貝田 池田 健一 本人退院
柿原 清水 幸子 本人退院

◎見舞い返しとして

社会福祉協議会に次の方からご寄付を
いただきました。(11月分) 敬称略

ご寄付

尾之上原 山本 重治 81歳 富裕栄
新道 石原 明哉 100歳 忠哉
新二 吉田 弘子 73歳 眞
杉谷 加藤もとよ 96歳 本人
(住所) (氏名) (年齢) (世帯主)

◎こめい福を祈ります

武庫 梅林 凜 男 徹
(住所) (氏名) (性別) (保護者)

人の動き

11月届(敬称略)

12月誕生 地域の宝物

(保育園編)

発行月に誕生日を迎えられる満5歳までのお子さんの写真を募集しています。住所・お子さんの生年月日・保護者氏名を記入のうえ、30字程度のコメントを添えて総務課まで郵送、持参、メールをしてください。



ふじはら しょうちゃん(3才)
ぬのえほんのさかなつりであそぶのがおもしろいです。



おかだ とあちゃん(5才)
ともだちといっしょにつみきやパズルであそぶのがたのしい。



ささき えみちゃん(6才)
ともだちとおみせやさんごっこで、ごちそうをつくったりたべたりしてたのしい。



かとう あゆちゃん(5才)
ともだちとおばけゲームをしてたのしい。

保育園での
遊びで
好きなこと

幼年消防隊

防火パレード

11月9日(金)、平成24年度秋季火災予防運動の一環として子供の国保育園児15名による防火パレードが行われました。お揃いの防火法被を着て「私たちは、絶対に火あそびはしません。」と誓いのことばを述べたあと、元気な声で拍子木にて「火の用心、出るとき寝るとき火の用心」と町民に呼びかけながら新町通りを經由し、本町通りに向けて行進しました。

町長後記



12月、町民の皆様には師走になり何かと気ぜわしい毎日をお過ごしのことと思います。また、一年を振り返る月でもあります。今年は大きな災害もなく穏やかな一年ではなかったでしょうか、農産物の収穫もよかったですの声を多く聞きます。

さて、先月19日から全国町村長大会等が開催され上京してきました。地方の活性化施策を強く国に要請をいたしました。また、11月23日には長野県木島平村において開催された全国12市町村が加盟する環境王国総会に副会長として参加し、加盟市町村の現状と地域特産品の販路開拓等について協議いたしました。江府町ではまず「奥大山」ブランドの推進を図ってまいりたいと思います。地域の生産物、加工された特産品に「奥大山」オリジナルシールを貼り販売をすることを新年度から実施したいと考えています。また、同村では第14回来・食味分析鑑定コンクール・国際大会も開催され3,915点もの全国で生産された米が出品されてきました。本町からも出品されており、江府小学校5年生及び末次輝夫さんが特別最優秀賞を受賞されました。お祝いを申し上げます。今、お米の販売は地域間競争が激化しており大会で優秀な成績を上げることは、有利販売につながると思います。

いよいよ今年もわずかとなくなりました、寒さも一段と厳しくなってきました町民の皆様にはお体をご自愛いただき元気に師走をお過ごしいただきますようご祈念申し上げます。